

ドイツ・フランスの介護保険・要介護度判について

日本の介護保険はドイツの介護保険を参考にして作られている。ドイツでは社会保障制度を担う5番目※の柱として、1995年にスタートしている。(※医療保険・年金保険・失業保険・労災保険・介護保険) ——日本は2000年施行(1997/12/制定)

ドイツの制度

ドイツは社会保険の国・カッセ(金庫)が国民に身近な存在

国は全ての国民が、職域保険、地域保健等のどれか1つ以上の保険に入るよう指導

金庫同士が、保険組合の加入者となってもらえるよう、特徴を出して競争している。

医療施設(病院など)が、サービスの内容や質・設備の競争をして

各社会保険組合にアピールする

1・大きな違い(ドイツと日本の制度は似ているが、大きな違いが家族介護の扱い)

現金給付が家族に対して行い、家族介護を評価し、家族への現金給付がある

日本は、介護保険は「介護の社会化」目的一家族を介護から解放し社会復帰のため。

家族労働に現金給付をすると、女性を介護労働に縛るのではとして、導入しなかった。

ドイツでは介護保険の有無にかかわらず、家族介護は一定の割合で存在すると認めた

上で、この部分を評価する事が重要→ドイツでは家族介護は労働として扱う

退院時、急変事は10日間の有給あり、

年金、失業保険、労災保険などの保険料に補助が出る。

介護サービスと金銭給付をミックスさせて制度に取り込んでいる形。

2. 要介護度調査(ドイツは年齢要件が無く—高齢者政策で無い)、障害者介護もこの制度で進める。) 2017年までは3段階だったが、それをほぼ日本と同じに変えている。

要介護度判定は独立の第三者機関MDKに委託し、その社会保険医師が単独で訪問調査

フランスの制度

1. サクセスフル・エイジングの三つの要素

1. 健康で体に不自由がない、2. 身体的・認知的能力の維持、3. 積極的な社会参加

・ 質の高い長期介護制 + 健康な高齢者の社会的統合と活動推進

1. 2003年: 1万5000人の命を奪った猛暑がフランスを襲う

→犠牲者の多くが独居高齢者で、新政策の導入を急いだ

緊急対策の策定 サービス間の連携強化、アラートシステム整備、緊急 サービスの再編、サービス利用のない独居高齢者の特定。この対策では、猛暑や寒波のほか、テロ攻撃、鳥インフルエンザ等々の緊急事態への対応を目的

2・この前にフランスの社会保障制度の全体改革（RMI）が発足（1988年）していた連帶というキーワードで、福祉の全分野の改革に連動して進められ、この動きの一環。

2. 介護の費用の財源について、制度を作つて行った

2000年 **個別化自立手当（APA）創設**：介護を利用する国民の経済面・支払い能力面を重視
フランスの介護利用料への制度：APAの支給要件

当該者の要介護度、収入（動・不動財産を含む）によって、また在宅か施設入居かで異なり、全国同条件にしている。収入により、自己負担額が異なるが、収入が6000 フラン以下であれば、自己負担はなし。 1 フランは 122.33 円 × 6000 = 733980 (月額収入 ¥61165 以下)

「要介護者施設入居者への支給額は、その収入、要介護度によらず、常に在宅者よりも低く設定しております。これら、社会医療施設には既に要介護者への社会保障が確立され、介護の為の出費は発生しないよう位置付けられているからです。」

当該者の同意のもとに、滞在施設に、直接支払われる APA の手当ては、入居者の収入によってのみではなく、要介護者への毎日の生活上、提供されるサービスの種類によって「介護料金」が支払われます。しかし、アメニティ代金（自己負担または社会福祉手当）とケア（疾病保険負担）とは、別途支払うことになります。

3. 要介護度判定

高齢化のイメージ払拭と世代間関係の構築支援——若い親と子ども、障害のある高齢者、健康な退職者がともに暮らす施設や共通サービスの提供 などで世代間関係を緊密に・2007年3月に政府は高齢者虐待の対策に 500 万ユーロの 予算を計上

フランスの AGGIR の判定項目（要介護度の 6 段階）・ドイツも認知症判定を検討し 6 段階へ。又日本の介護保険は 2015 改正以降の動きとして、要支援、要介護 1・2 を介護保険から外してゆく中で、認定審査方法に一つのバリエーション、チェックリストが使われ始めた。

介護保険創設時の精神を思い起こし、団塊の世代の要介護者増を見込んで作られた介護保険は、今どう改正改変されるのか、それでどうなるのか、いろいろ考える参考です。

表4 基本チェックリスト

No.	質問項目	回答 (いずれかに○をお付け下さい)	
1	バスや電車で1人で外出していますか	0.はい	1.いいえ
2	日用品の買い物をしていますか	0.はい	1.いいえ
3	預貯金の出し入れをしていますか	0.はい	1.いいえ
4	友人の家を訪ねていますか	0.はい	1.いいえ
5	家族や友人の相談にのっていますか	0.はい	1.いいえ
6	階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか	0.はい	1.いいえ
7	椅子に座った状態から何もつかまらずにたちあがっていますか	0.はい	1.いいえ
8	15分くらい続けて歩いていますか	0.はい	1.いいえ
9	この1年間に転んだことがありますか	1.はい	0.いいえ
10	転倒に対する不安は大きいですか	1.はい	0.いいえ
11	6ヵ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1.はい	0.いいえ
12	身長 cm 体重 kg(BMI=) (注)		
13	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1.はい	0.いいえ
14	お茶や汁物等でむせることがありますか	1.はい	0.いいえ
15	口の渇きが気になりますか	1.はい	0.いいえ
16	週に1回以上は外出していますか	0.はい	1.いいえ
17	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1.はい	0.いいえ
18	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるといわれますか	1.はい	0.いいえ
19	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	0.はい	1.いいえ
20	今日が何月何日かわからない時がありますか	1.はい	0.いいえ
21	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1.はい	0.いいえ
22	(ここ2週間)これまで楽しんでやっていたことが楽しめなくなったり	1.はい	0.いいえ
23	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1.はい	0.いいえ
24	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1.はい	0.いいえ
25	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1.はい	0.いいえ

(注)BMI(=体重(kg) ÷ 身長(m) ÷ 身長(m))が18.5未満の場合に該当とする。

運動
栄養
口腔
閉じこもり
認知
うつ